

## 県職員の参画と協働に関する意識・実態調査

## (1) 調査の目的

県民の取り組む地域づくり活動を支援するだけでなく、自ら取り組むとともに、参画と協働による県政を推進する立場にある県職員に、参画・協働意識の醸成に向けて、理解の現状、地域での活動実態などについて意識・実態調査を行う。

(2) 調査対象 県職員1,000人（無作為抽出）

(3) 調査時期 平成16年6月～8月

(4) 調査方法 庁内LANを利用

## (5) 調査事項例

## （一県民として）地域づくり活動への取り組み状況

項目	内容
取り組み状況	地域づくり活動への取り組みの有無
(活動している職員に) 活動の内容	活動を始めた時期
	活動を始めた動機
	取り組んでいる活動の内容
	今後の取り組み方向
(活動していない職員に)理由等	取り組まなかった理由
	今後の取り組み意向
	(取り組みたい職員に)今後やってみたい活動内容
	(取り組みたいと思わない職員に)理由
(共通)活動に必要なこと	県職員が地域づくり活動に取り組むために必要なこと(意識改革、参画と協働にかかる知識、地域の人とのつながり等)

## 参画と協働の推進状況について

項目	内容
参画と協働の手法の導入状況	施策・事業の計画段階、実施段階で、参画と協働の手法を積極的に導入しているか
(参画と協働の手法を導入している場合) 導入している手法	具体的にどのような手法を導入しているか
成果	住民、地域団体、NPO・ボランティア団体、企業等との参画・協働に満足しているか
	(満足している場合)どのような点で満足しているか、どのような導入のメリットがあったか
	(不満な場合)どのような点で満足できなかったか、うまく

	いかなかった原因
(参画と協働の手法を導入していない場合)理由	導入しない理由
(共通)参画と協働の推進状況	参画と協働による県行政は進んでいる(県政に県民の意見が反映されている)と思うか
(進んでいないと答えた職員)原因	参画と協働が進まない原因は何か
(共通)参画と協働を推進するために必要なこと	参画と協働を推進するために必要な施策等(今後必要な支援方策、改善方向)

参画・協働条例の認知状況に関する事項(条例の施行前後での変化)

項目	内容
条例施行による変化	条例の施行前後で変化があったと思うか
	条例の施行により変化したこと

自由意見

参画と協働を進めるために必要だと考えることなど自由に記載

調査対象者の基本属性に関する事項(フェイスシート)

性別、年齢、居住地域、職務内容等